



MAX CO., LTD. COMPANY PROFILE

世界中の暮らしや仕事を もっと楽に、楽しくする

創りたいのは、新しい当たり前。

使う人に寄り添いながら、

大胆に発想して、

今までにない便利さを世に送り出す。

私たちの製品を使っていただくことで、

きっと、楽にできるはず。

もっと、楽しくできるはず。

そうやって、人々の心にゆとりをもたらしたい。

人々の可能性を最大化したい。

そのために、私たちは挑戦し続ける。

MAX *ENGINEERED FOR PERFORMANCE*



マックスは、「人」が尊重され、 「人」が成長することにより、 会社も成長すると考えます。

マックスでは、従業員一人ひとりが主役となり、自己の成長のために働くことを推奨しており、そのことを「経営基本姿勢」に掲げております。人を育て、堅実に存在し続ける企業を実現して安定した雇用を確保することが、企業が果たすべき重要な社会貢献と考えています。そのうえでさらなる社会への奉仕と文化への貢献を目指し、従業員の働きを新しい価値の創造に向けて結集させ、お客様、社会に役立つものをカタチにし供給し続けることで、自らを、会社をより成長させていきます。そして生み出した成果をステークホルダーに公正に配分し、社会の一員としての役割を果たしてまいります。



代表取締役社長
小川辰志

社是

一. 良い製品を責任をもって供給する

(各自の持っている能力、技術の100%マキシマムを発揮して
クライマックスの製品を造り販売する)

一. 全従業員の生活の向上と 人材の養成に努める

(従業員は人格を尊重し合い、努力甲斐ある会社とする)

一. 社会に奉仕し、文化に貢献する 堅実な前進を期する

(信頼ある生産と販売に徹する)

経営基本姿勢

いきいきと楽しく力を合わせ、
皆揃って成長していく集団を目指す

1. ガラス張りの経営に徹する

2. 全員参画の経営に徹する

3. 成果配分の経営に徹する

マックス ブランドコンセプト

コーポレートビジョン

世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする

提供価値

新しい常識を創り、
ライフパフォーマンスを最大化する

マックスらしさ

Collaborative & Energetic Creative & Fun
寄り添いつながる 強い使命感
チャレンジングな創造性 楽しさ

コーポレートカラー

〈ブランドロゴの色〉

ヒューマンレッド

マックスの企業理念『人間尊重』の精神を
視覚化し、「人間としての温かみと発展性」を
表したのがコーポレートカラー〈ヒューマン
レッド〉です。

ヒューマンレッドは、情熱とバイタリティあ
ふれるマックス社員の心の色を表出させた
ものです。

CORE BEHAVIORS

行動指針

徹底した現場主義・顧客主義

マックスは、「世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする」というコーポレートビジョンのもと、徹底した現場主義・顧客主義でお客様のニーズに応え、社会の変化を捉えるとともに、世の中にはない製品を創出・普及させることで、新たな市場を生み出し、ナンバーワン・オンリーワンを確立しています。

持てる能力や技術を最大限発揮して、お客様や社会が求める良い製品を創り出し、継続的に供給することが、世の中がどれほど変化しても変わらないマックスの使命です。マックスの創り出す製品がお客様の暮らしや仕事を便利で快適に変え、堅実に存在し続ける企業を実現することで社会に貢献したいと考えています。

失敗を恐れずに、やって、見て、考える

マックスの目指す人材像は、「失敗を恐れず挑戦し続け、共に学び、成長を目指す人」です。失敗を恐れずに、まずやってみる。そこから出てきた現場・現物の「事実」があるがままに客観的データとして掴み、それをチームのメンバーが理解・共有したうえで、チームの進むべき仕事の方向を明らかにして次の行動を起こすのです。得た「事実」を共通の価値とし、自身、そしてチームの成長につなげます。

使う人が満足するモノづくり

マックスは1942年、当時、最高水準の金属加工技術が必要とされていた航空機部品のメーカーとして創業しました。戦後は、ここで培ったプレス技術や線材加工技術^{*1}を強みに、国産初となるホッチキスをはじめ、オートステープラ^{*2}、釘打機、鉄筋結束機、園芸用結束機などのオンリーワン・ナンバーワン製品を創出し、オフィスや建築・建設現場、農業や食品分野の業務効率化に貢献してきました。2000年以降は、高齢化が進展するなか、より快適な暮らしへのニーズの高まりを受け、浴室暖房・換気・乾燥機「ドライファン」をはじめとする住環境機器、車いすなどの介護機器へと事業を拡大しています。

「使う人が満足するモノづくり」へのこだわりが、マックスの歴史です。

*1 ホッチキス針や鉄筋結束機のワイヤなど、マックス製品の消耗品の基盤となる技術

*2 複合機などに搭載される電子ホッチキス



オフィス機器事業



ステーショナリーや事務機械などで、新しいオフィスワークをサポートします。

マックスは時代のニーズをいち早く捉え、1952年国産初の小型ホッチキスを開発しました。

以来、ホッチキスはオフィスワークに欠かせないアイテムとして発展し続けています。

事務機械分野においても新たなニーズを捉え、表示作成機「ビーポップ」、チューブマーカー「レタツイン」、ラベルプリンタなどの製品を展開しています。

『とじる』にこだわり、ホッチキス・針は、お客様の使いやすさを追求しつづけます。

より軽い力で、多くのとじ枚数を実現するには、ホッチキス本体の品質と針の精度管理が大切です。ホッチキス本体は、ISO9001取得工場で生産し、品質をさらに高めています。またホッチキス針は、紙をとじるのに適した先端形状を維持するために、独自の設備で徹底した精度管理のもとに製造し、お客様の使いやすさを追求しています。



TOPICS 01

国産初、そしてシェアNo.1※商品の創出。

国産第1号の10号タイプホッチキスを発売。以来70年以上の間に5万台を超えるホッチキスを生産・販売してきました。紙をとじる機能を追求し続け、フラットクリンチホッチキスも世界で初めて創りました。緑の小箱・マックス針とともに、ホッチキスはオフィスワークに欠かせない商品の一つとして、国内シェアNo.1のご愛顧をいただいています。

※2024年版 文具・事務用品マーケティング総務 国内ステープラ市場シェア 株式会社矢野経済研究所調べ



表示物やラベルを 自由に作成できる「ビーポップ」。

職場の安全表示、製品に貼る銘板ラベル・PLラベル、化学物質規制に対応したラベル、工事現場の看板、駅の案内表示などを自由に手軽に作成可能です。文字や写真を入れたオリジナルの表示物、ラベルを作成でき、さまざまな場所で活躍しています。

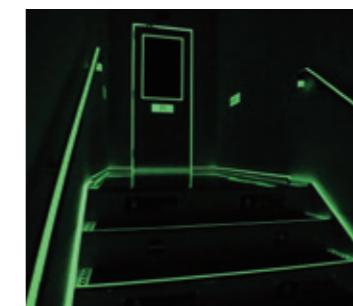


プロセッサー印刷による写真入りの表示物、ラベル作成も可能な「ビーポップ CPM-100 H6」



「安全表示・ 人づくりコンテスト」の開催。

「ビーポップ」で作成した安全表示のコンテストを2018年より開催しています。安全表示を職場の皆で考え、工夫して作成する「職場自主活動」を通じ、働く皆さまの安全意識の向上(人づくり)につなげることが目的です。考え、工夫した安全表示と取り組みが各社から集まり、安全活動の輪が広がっています。



住友化学会社
大阪工場の作品



ダイキン工業株式会社
滋賀製作所 滋賀製造部の作品

チューブ、テープに高速印字 チューブマーカー「レタツイン」。

マックスの「レタツイン」は1994年の発売以来、携帯型チューブマーカーのトップブランドとして好評を得ています。機械や設備をコントロールする制御盤や配電盤などの中にある電線を、端子台に正しく配線・メンテナンスできるよう識別表示に使用されています。



電気配線用チューブに印字する「レタツイン」



マックス電設㈱

ラベルプリンタが、 消費者に信頼される 表示ラベルの作成を手軽にします。

マックスのラベルプリンタとラベル編集ソフト「楽ラベ」で、食品表示法に対応したラベルを、現場の作業形態に合わせて、簡単・スピーディ・低コストで作成できます。お客様の用途に合わせて食品の安全管理をバツクアップします。



2023年より食品表示ラベル作成担当者に向けて、ラベル運用をサポートする「楽ラベサポート」を開始しました。

世界でもロングセラー マックスは海外でも信頼のブランドです。

それぞれの地域・文化・用途に合わせた活動を行い、オフィス機器はアジアを中心に販売しています。また「ビーポップ」や「レタツイン」は、欧州へも販売しています。

アジアへの展開

1964年にアジアに進出し、現在はシンガポールを中心に、上海、香港など5拠点を設置しています。HD-10に代表されるハンディタイプのホッチキスは東南アジアでも主流で、マックスのHD-10のデザインは、品質を保証するシンボルとして、広く普及しています。また、HD-10Dも使い勝手の良さやデザイン性が評価され、アジアで認知が広がっています。



HD-10



HD-10D

表示作成機「ビーポップ」

海外での展開

2014年に「ビーポップ」販売代理店のLighthouse(UK)Holdco.Ltd.の全株式を取得、2019年にオランダに販売拠点として、Lighthouse Europe B.V.を設立し、「ビーポップ」の事業拡大を積極的に行ってています。

また、お客様の要望に合わせて、シート幅最大200mmの表示物、ラベルを印刷できる「ビーポップ」をラインアップ、大きな表示物を作成できることで好評を得ています。



CPM-200



Lighthouse(UK) Ltd.

チューブマーカー「レタツイン」 アジア・欧州での展開

各国の展示会に積極的に参加し、拡販活動を進めています。

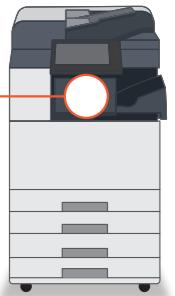


“とじる”というアートの追求と オートメーションによる価値を創造します。

マックスは、1985年に複合機内蔵用電動ホッチキス「オーステープラ」を発売しました。品質・精度の高さで、これまでに数々の複合機・プリンターメーカーに採用され、デジタルプリント環境におけるフィニッシングソリューションをサポートしています。

マックスは、技術革新で、お客様のニーズに応えます。

「オーステープラ」はプリント後の自動ステープル機能として、お客様の要望に応えて進化しています。近年では、複合機・プリンターの設置面積を抑えるニーズに対して、複合機・プリンター本体の小型化実現のため、小型・軽量化したオーステープラ製品を開発し、お客様から好評を得ています。



TOPICS 02

高精度・高品質、 ハイコストパフォーマンス商品。

「オーステープラ」は、複合機に搭載されステープリングする、マックスの創造品です。連続、高速の使用に耐えられる高品質を実現。お客様の課題をいち早く解決して、今では世界中の複合機やプリンターに搭載され信頼を得ています。プロフェッショナルな冊子を求めるニーズに応え、最上位機種のつづり能力は100枚に達しています。さらに、薄い枚数でもとじた後の針足長さが変わらない針足カット機構を磨き上げ、お客様にご満足いただいています。新たなニーズにお応えするために、「オーステープラ」は進化し続けます。





「打つ」「締める」「縛る」のファスニング機器は、専門分野のさまざまなシーンで活躍します。

マックスは、1958年に国産初の手動式ネイラ(ガンタッカ)を発売しました。

その後、空圧技術の確立により、1962年に国産初のエア式ネイラを発売以来、

国産釘打機のパイオニアとして、エアネイラやエアコンプレッサを発展させてきました。

また、1993年には世界初の充電式鉄筋結束機を発売。

お客様のニーズを形にし、お客様の作業効率の向上や身体的負担の軽減に貢献しています。

国産釘打機のパイオニア。

釘打機の技術革新をリードするマックスが開発した高圧釘打機。

木下地だけでなく、コンクリートや鋼板への打ち込みにも威力を発揮します。マックスは常に技術革新を続けています。



新時代の釘打機 「エアロスターシリーズ」。

使い勝手のよいマガジン、フック、風量調整ができるエアダスターなど、充実した機能を搭載した、新時代のスーパーネイラです。



ボード施工全体の作業効率を追求した ねじ打機「ターボドライバA(エース)」。

連続作業性向上、仕上げ性能の安定化、ねじ装てん簡便化によりボード施工全体の作業効率向上を追求しました。



独自性にこだわった充電工具。



低騒音とスムーズな締め込みを追求した「充電式静音インパクトドライバ」



お客様の利便性を追求した、 釘打機の動力源「エアコンプレッサ」。

使用状況に応じてエアの量を変動させるAIモード、さらに運転音が気になる環境(早朝・夜間・休日・リフォーム作業など)での作業に適した静音モードを搭載しました。



ツール特性を踏まえた建築用ファスナー。

マックス製のツール(機械)とファスナーを使用することで、ツールの能力を最大限に発揮します。



TOPICS 03

お客様のニーズに技術革新で 応えるユニークな製品。

釘打機は、プロのニーズに応える速射性、耐久性、さらには小型軽量化や現場作業にマッチした形状が求められます。

国産釘打機のパイオニアメーカーとして、マックスは世界に先駆けて高圧(23気圧で使用)釘打機を開発しました。常圧(10気圧以下)の釘打機ではできなかった小型軽量化と高性能を両立させ、お客様の高い支持を獲得しています。

コンクリート構造物の現場で活躍。

鉄筋結束機をはじめとする独自の省力化・効率化ツールを提案します。

マックスはコンクリート構造物の作業現場を調べ上げ、お客様の視点で、機能的に差別化された独自のツール・消耗品を新規開発し、提供し続けています。マックスのコンクリートツールはお客様より高い評価を得ています。



充電式鉄筋結束機のパイオニア。

常に現場の声を聴き、改良を重ね、市場をリードしています。

鉄筋結束作業は手作業で行われており、作業には熟練技能が必要です。そこで誰でも簡単に均一な作業ができる「充電式鉄筋結束機」を1993年に世界で初めて発売しました。

以来、現場でお客様の声を聴きながら改良を重ね、2017年に「ツインタイア」を発売。国内外で評価され、急速に普及し、鉄筋結束の現場を大きく変えました。以降、より太い鉄筋を結束できる「大径モデル」「特大径モデル」、鉄筋結束機の稼働データと位置情報をリアルタイムで可視化できる「IoT搭載モデル」、腰を曲げずに結束することで身体的負担を軽減する「ウォーカーモデル」を発売、機械化できる作業を増やすことで、作業効率向上に貢献します。



スタンダードモデル / 大径モデル / 特大径モデル



IoT 搭載モデル



ウォーカーモデル

ハイパワーかつ軽量。

コードレス ガス内燃式ピン打機
「ガスネイラ」。

2004年に国産第1号のガスネイラ(ガス内燃式ピン打機)を発売。コードレスなので取り回しに優れ、ハイパワーの打ち込み力を実現。

内装、設備、住宅基礎、鉄筋工事等で幅広く活躍しています。



マックスの製品は世界の現場でも活躍しています。

海外の機工品事業は、欧米を中心に展開しています。

欧米の建設現場、プレキャストコンクリート工場などでは、

これまでの手作業に代わって鉄筋結束機「ツインタイア」の普及が加速しています。

北米への展開

1993年ニューヨークに販売会社MAX USA CORP.を設立。現在はテキサス、カリフォルニア、ノースカロライナにも拠点を設置し、サービス体制のさらなる充実を図るなど、ユーザーの満足度向上につながる取り組みを進めています。海外でも人手不足などの影響から機械化のニーズが高まつており、鉄筋結束機を始めとしたマックス製品は高い支持を受けています。



MAX USA CORP.

欧州への展開

2006年オランダに販売会社MAX EUROPE B.V.を設立。鉄筋結束機を中心とした機工品事業の成長に伴い、2022年にMAX EUROPE B.V.のドイツ支店を新設し、自社の修理体制を整えるなど、欧州での事業拡大に向けて、販売体制の強化とユーザーの利便性向上に取り組んでいます。



MAX EUROPE B.V.

新たな地域への展開

北米・欧州に続き、韓国、台湾、オセアニアでも鉄筋結束機の普及拡大に取り組んでいます。またASEAN・中東では新規市場開拓を本格的に開始し、現地の建設現場へ足を運び、生産効率改善や工期短縮、現場作業者の負担軽減などを提案しながら、現地ニーズの調査を行っています。



新製品の探索や市場テストは、 海外でも実施

海外の現場に行き、お客様の声を直に聴き製品に反映することがモノづくりには欠かせません。お客様の声を聴くこと、事実を確認することから、お互いの信頼が始まります。



Agriculture(農業) Food(食品)分野でも、 マックスのユニークな結束機器が活躍します。

AF分野への進出は、1969年農業・園芸用に発売された誘引結束機「テープナー」から始まります。

そのユニークな発想は、包装作業の「効率化」と「疲労の軽減」をサポートする袋口結束機「コニクリッパ」「パックナー」、テープで束ねる野菜結束機「おびまる」などへと受け継がれ、専用の消耗品とともにそれぞれの製品が進化をしながらロングセラーとなっています。

「楽らくテープナー」は、飛躍的な進化を遂げました。

「もっと軽く、もっと楽に誘引できたら」。こんな声にお応えして、本体質量・とじ荷重を飛躍的に軽くした「楽らくテープナー HT-Rシリーズ」は、世界中の農家で愛用されています。さらに、環境やSDGsへの意識の高まりに応え、「テープナー」の専用消耗品として、土中で分解する環境に配慮した「生分解テープ」「紙テープ」を発売。今後も環境配慮素材の採用に積極的に取り組み、SDGsの達成に貢献します。



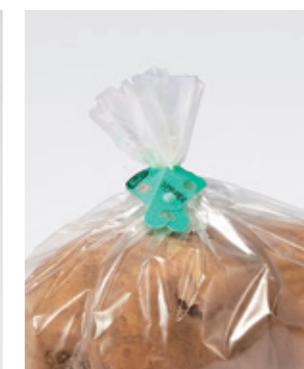
充電式剪定はさみ「ザクリオ」。



果樹の剪定作業を楽にします

青果・食品用袋口結束機「コニクリッパ」で、作業者の疲労を大幅軽減。

包装作業の効率化を実現する「コニクリッパ」と簡単開封が可能な専用結束具「コニクリップ」です。2022年には、環境に配慮したバイオマス素材を配合した「バイオマスコニクリップ」を発売しました。



充電式袋とじ機「モバイルパックナー」。



電源コンセントのない場所でも袋とじ作業が楽に行えます

野菜結束機「おびまる」。



ネギやかぶなどをテープで簡単に束ねます

世界の現場で活躍する「テープナー」。

欧州、米国、東アジア、オセアニアなど世界40カ国で、主に苗木やブドウなどの栽培に使われています。

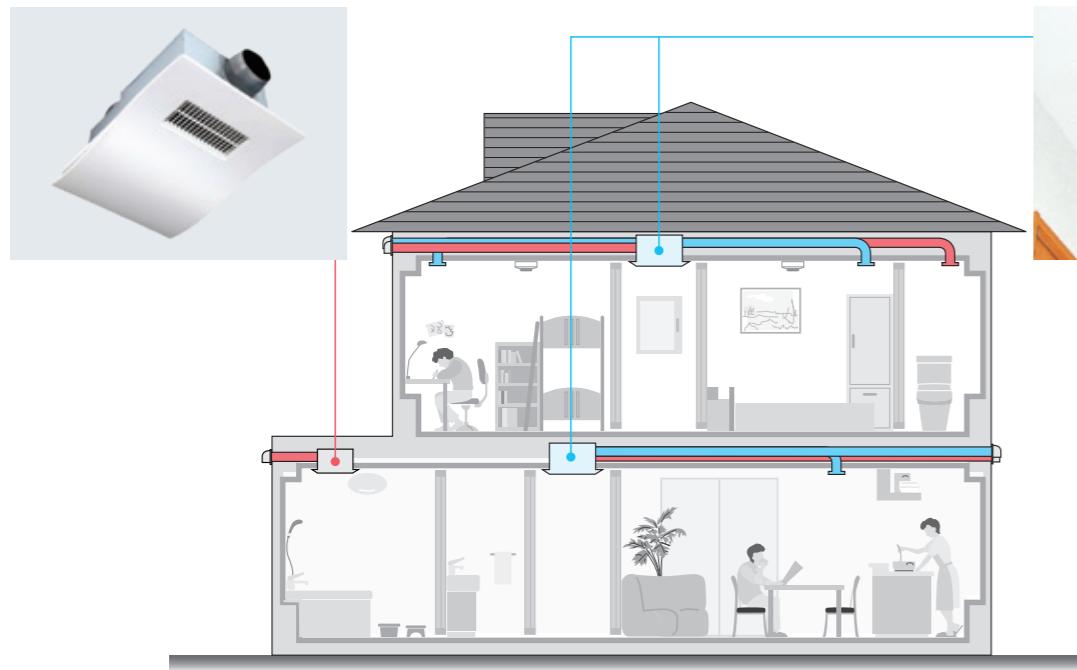




新築でも、リフォームでも、 快適な住環境づくりを提案します。

ヒートショック対策に効果的な浴室暖房・換気・乾燥機、シックハウス症候群のリスク低減のために建築基準法により原則として設置が義務付けられている24時間換気システムなど、より良い住環境をサポートする製品をラインアップしています。

浴室暖房・換気・乾燥機
「ドライファン」



全熱交換型 24 時間
換気システム

ご愛用実績 860万台^{*1}突破の高信頼性。

電気式浴室暖房乾燥機市場 売上数量国内シェアNo.1^{*2}ブランド「ドライファン」。

1985年に浴室暖房・換気・乾燥機「ドライファン」を発売して以来、多くの人のバスライフを快適にする製品を提供してきました。これからもパイオニアとして、時代の変化を捉え、お客様の声を大切にしながら、バスライフに新しい提案を行います。



D R Y F A N

since 1985

ドライファンは発売から40周年を迎えました

2025年3月に発売から40周年を迎えたことを記念し、ロゴマークを作成しました。

『今でも、そして、これからも。』「ドライファン」がお客様とともに、進化し変化し続けていくことを表したロゴです。



全熱交換型 24 時間換気システムで、 住まいの空気を新鮮に。

2003年の建築基準法改正により、すべての建築物で24時間換気システムの設置が義務化されました。マックスの「全熱交換型24時間換気システム」は熱交換により外気を室温に近づけて取り込むことで、冷房・暖房使用時にかかるエネルギーを軽減する、住まいの省エネ性と快適性を向上させる製品です。



リフォームでの「お取り替え」需要に
応える製品をラインアップ。お取り替え工事にも
対応できるアフター体制を整えています。

修理はもちろんお取り替え工事も行っており、安心のメーカー施工でお客様より評価をいただいています。マックスは販売のみではなく、その後も考えたアフターの仕組み・体制を整えています。



*1 当社調べ(2025年3月現在)

*2 住宅設備・建材市場トレンドデータ便覧 2024 電気式浴室暖房乾燥機市場 メーカーシェア(2023年度実績) 株式会社富士経済調べ 2024年6月現在



「快適な暮らしと健康のために」 安全・安心な製品と良質なサービスを提供してまいります。

マックスは、2010年に車いすメーカーのカワムラサイクルの株式を取得し子会社としました。

福祉用具は日用品として「使い勝手」が大切であり、マーケットニーズを的確に捉え、

商品企画へ反映させが必要です。カワムラサイクルではスピーディなサンプル生産とモニタリングを繰り返し、

より良い製品を生み出す開発体制を整えています。このような開発体制の下、安全性を確保しながらも、

新しい技術を採用して付加価値の高い製品開発を行っています。

場面にあわせた車いすをラインアップ。

車でのおでかけが多い方には軽量に特化した「ふわりす」シリーズ、主に在宅でお過ごしになる方には家具とデザインの相性が良い「WAVIT」シリーズ、ご利用者だけでなく、介助者へのユーザビリティも追求した「モダン」シリーズなど、さまざまな場面で使用できる車いすをラインアップ。

個人での使用に限らず、病院や福祉施設でも活躍しています。



〈ふわりす〉



〈WAVIT〉



〈モダン〉



品質管理

社内試験

JIS規格(JIS T9201:2016)に基づいた社内試験設備や第三者試験機関にて「走行耐久性試験」や「車いす落下試験」などを日常的に実施し、安全性・耐久性の維持向上を図っています。JIS規格がない形式の車いすについても社内基準を設け試験を行い、その結果に基づき、仕様の見直しや新製品の開発を行っています。

キャスター耐荷重試験

車いす使用中、過度な負荷がキャスターに集中しても壊れないかを確認するため、キャスター単体に一定の荷重をかけ、各部に亀裂や凹みが出ていないか、回転が円滑であるか等を確認する試験。



静的安定性試験

使用者が搭乗している状態で傾斜地において車いすが不安定な状態にならないかを確認する試験。上り坂、下り坂、側方の傾きを想定し、傾斜角度を変えられる装置で評価します。



走行耐久性試験

石畳のような凹凸路面を走行してもフレームや各部品に脱落や、破損がないことを確認する試験。車いすに関する試験の中では最も過酷で重要な試験でもあります。



製品紹介



リクライニング時の背ずれを抑制した

Modern Rich-style

新ティルト＆リクライニング機構「スラリク機構」を搭載し、バックサポートを「倒す・起こす」の動作を繰り返しても背中がずれにくく、安定した座位が保てます。長時間使用しても疲れにくい、モダンシリーズのティルト＆リクライニングタイプの車いすです。



座るだけでフィットする次世代型標準車いす

WAVIT Roo

体のラインに沿ったカーブィなフレーム形状や屋内外でも目立つカラーリングなど、機能美を追求しました。長時間座っていても疲れにくい独自のシーティングシステムにより、「座る」だけでなく、立ち上がりなどの移乗動作もサポートします。

海外市場への進出

中国をはじめとするアジア市場にて、日本ブランドであることや車いすの品質の高さが評価され、導入が進んでいます。



カワムラサイクルホームページ



www.kawamura-cycle.co.jp

独創技術で次世代をリードする 新製品を創り続けます。

徹底した現場主義のもと、ニーズとシーズを融合させた企画・コンセプト立案からスタートする新製品開発プロセスと、それを支える開発環境により「オンリーワン製品」を生み出します。そして、セールスポイントを実現する技術と知的財産権により「ナンバーワン製品」の地位を維持します。



企画・コンセプト立案

お客様の声から
新しい価値を創造

企画・コンセプト

製品設計力

メカ・ハード・ソフト設計の融合 / 解析主導設計

製品設計

開発支援

最新機器に支えられた試作・計測・評価システム

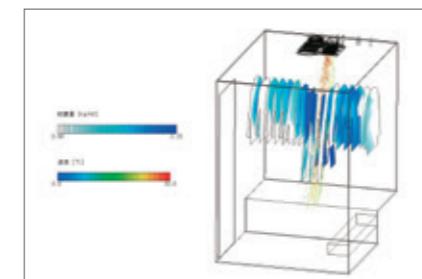
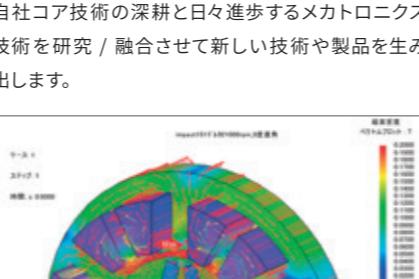
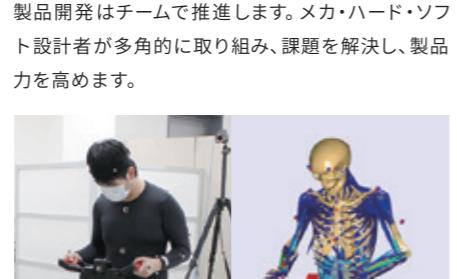
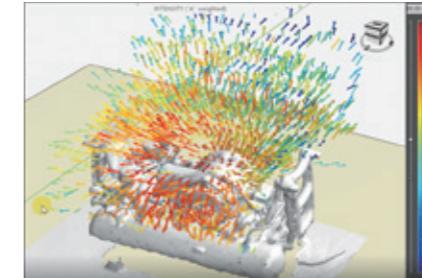
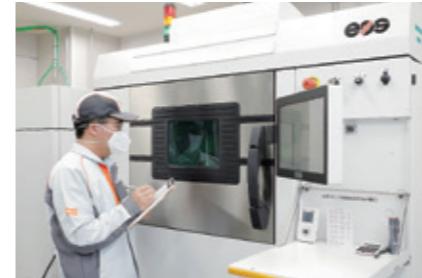
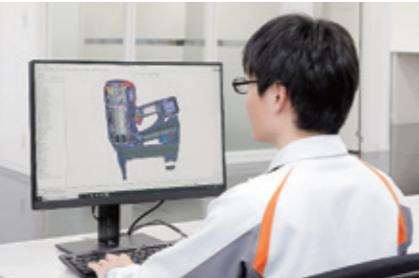
試作

検証

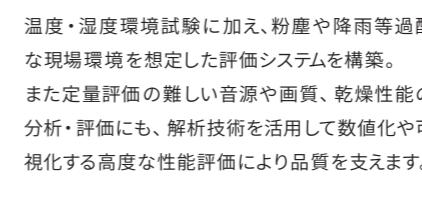
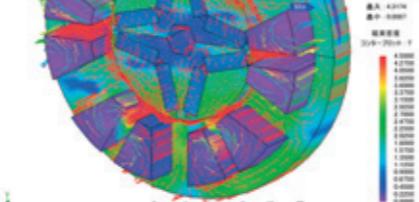
製品化

知的財産戦略

コア技術とニーズの融合により生み出すユニークな製品を知的財産権で保護するニッチトップ戦略



世界の現場に企画者とメカ・ハード・ソフト設計者が足を運び、お客様の声や現場環境からニーズの本質を掴みます。技術者ならではのシーズ視点で発想を膨らませ、新しい価値を創造します。



自由度の高い開発上流段階から先端解析技術を活用した最適化設計を行います。
ソフト開発は、機械制御を基点に、IoT、クラウド、Web/モバイルアプリなど、
必要な先端IT技術により、新たな顧客価値を創造します。

金属3Dプリンタや3Dスキャナ等、最先端の試作/計測機器を導入。技術研究・新製品開発をサポートします。

世界中で販売され、さまざまな現場で活躍します。

世界有数の設備と生産システムから、 グローバルな競争に打ち勝つ信頼の製品が生み出されます。

自社開発設備を中心に構成し、省人化・無人化で高い生産性とクリーンな作業環境を保つ消耗品生産ライン。最新鋭の加工機を駆使し、効率的な稼動で生産する主要精密部品。グローバルな競争に打ち勝つ信頼の製品は、このような設備・生産システムから生み出します。そして、お客様に満足していただける製品を、責任をもって供給するために、市場に学ぶ“三現主義(現場・現物・現実)”の実践を通じた全員参画のチーム活動を軸として、市場の多岐にわたるニーズへのフレキシブルな対応と品質管理体制の構築を進めています。

TOPICS 04

ツールと消耗品のベストリンク。

マックス製品の使いやすさは、ツールとその消耗品の適合性の高さにあります。消耗品の性質を知ってツールを設計。ツールのスペックに合わせて消耗品を開発。ツールと消耗品は、お客様満足を支える両輪です。ユーザーの使用環境や用途から、ツールと消耗品のニーズを捉えることは、現場を知り、お客様を知ろうとするマックスの創造活動の基本です。



玉村工場



需要の変化にタイムリーに対応する “フレキシブル生産工場”です。

玉村工場は、機工品の主力工場として、釘打機の加工から組立までの一連の工程を集約した工場です。多様な市場ニーズに対応して変種変量生産を追求。釘打機、鉄筋結束機、ガスネイラなど約200品種を生産しています。SCM推進に向けて、独自エンジニアリングによるNC自動化設備と、セル生産方式による高品質・高効率でフレキシブルな生産を進めています。

また、コンプレッサや各種充電工具をはじめ、ビーポップ、ラベルプリンタなどの事務機械、オーステープラも生産するメカトロニクス工場で、マックスの主力工場です。



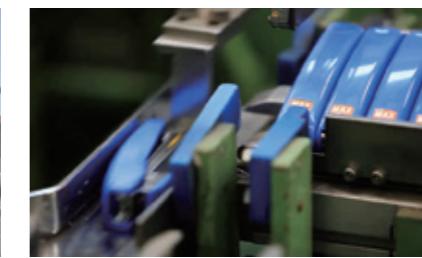
藤岡工場



世界屈指の“消耗品専用工場”です。

藤岡工場は、設備・生産量ともに世界屈指の規模の“消耗品専用工場”です。事務機器、機工品等の各種ステープルや鉄筋結束機用ワイヤ(タイワイヤ)の生産をはじめ、オーステープラ用高精度針などの新消耗品開発にも積極的に取り組み、製造の技術革新と新消耗品の製品開発を推進します。また、素材から完成までの一貫製造システムを自社開発設備で構成。多線連続プロセス制御で、高品質無人化工場として、装置型工場の新しいFA化を目指しています。

倉賀野工場



吉井工場



住環境機器の生産・物流機能を統合し、 生産体制を確立しました。

吉井工場は、市場シェア約50%の電気式浴室暖房乾燥機や全熱交換型24時間換気システム、ディスポーザなどを生産しています。“住環境機器専用の邸別詰合せ梱包ライン”を設置し、“ピッキング・小口梱包作業”を効率化。物流作業トータルの生産性向上も実現します。

倉賀野工場では、小型ホッパキスとエアコンプレッサのタンクを生産しています。自社開発の製造設備により、プレス加工から組立までの一貫工程を自動化、インライン自動検査などオートメーション化したラインにより、高品質・高効率の量産体制を構築しています。

お客様のニーズにいち早く応える 営業体制とサプライチェーンを構築しています。

マックスグループは、当社、子会社および関連会社25社で構成され、お客様により良い製品とサービスの提供を目指しています。

国内・北米・欧州・アジアに販売拠点を設置し、国内外での販売やアフターサービス体制を充実させています。

国内工場をはじめ、タイ、中国、マレーシアなどの海外工場での生産や、物流・サービス拠点の充実により、

品質とスピードでお客様のニーズに応えています。



製造拠点

玉村工場

所在地：群馬県佐波郡玉村町川井1848
生産品：釘打機、エアコンプレッサー、鉄筋結束機、オートステーブラ、電子事務機等

倉賀野工場

所在地：群馬県高崎市倉賀野町2644
生産品：ホッチキス、エアコンプレッサーのタンク等

藤岡工場 JIS認定工場

所在地：群馬県藤岡市森33-1
生産品：ホッチキス針、オートステーブラ用ステーブル、タイワイヤ等

マックス常磐株式会社 JIS認定工場

所在地：茨城県北茨城市関本町富士ヶ丘425
生産品：各種コイルネイル、タイワイヤ等

吉井工場

所在地：群馬県高崎市吉井町岩井800-2
生産品：浴室暖房・換気・乾燥機、熱交換型24時間換気システム、ディスボーザ等

マックス高崎株式会社

所在地：群馬県高崎市吉井町岩井800-2(本社)
群馬県高崎市倉賀野町2644(倉賀野工場)
事業内容：ホッチキス、浴室暖房・換気・乾燥機等の生産業務

中国 14 美克司電子機械(蘇州)有限公司

生産品：浴室暖房・換気・乾燥機等

15 美克司電子機械(深圳)有限公司

生産品：オートステーブラ、電子事務機等

タイ 16 MAX (THAILAND) CO., LTD.

生産品：ホッチキス、各種ネイラ(釘打機)、テーブナー、オートステーブラ、タイワイヤ、コニクリップ等

マレーシア 17 MAX FASTENERS(M) SDN. BHD.

生産品：ホッチキス、ホッチキス針等

現場主義が社会課題の解決へ。

マックスの徹底した現場主義に基づくモノづくりの姿勢は、数多くのニッチ市場で
オンリーワン・ナンバーワン製品を生み出し、健康で安全・安心な暮らしや仕事環境の実現に貢献しています。

社会課題の解決に向けた製品開発

身体的負担の軽減・人手不足への対応

充電式鉄筋結束機「ツインタイア」

1993年、マックスが世界初の充電式鉄筋結束機を発売しました。発売以前、建設現場における鉄筋結束作業はハッカーという工具を使って、手作業で行われていました。発売後、鉄筋結束機は数回のモデルチェンジを経て、2017年、2本のワイヤで結束を行うツインタイア機構を開発、結束力の強化・結束時間の短縮を実現し市場における圧倒的ナンバーワンの地位を確立しています。さらに2020年には、立ち姿勢のまま歩きながら結束作業が行える「ツインタイア ウォーカーモードル」を発売。鉄筋結束作業は炎天下で行われることも多く、鉄筋工の高齢化や人手不足が進行するなか、「ツインタイア」は、身体的負担の軽減と作業時間の短縮化を同時に実現する画期的な製品です。



工具のサブスクリプション・レンタルサービス

「レンツール」開始

「レンツール」はユーザーが状況に応じてサブスクリプションまたはレンタルのどちらかを選び、工具を使用することができるサービスです。工具の初期導入費用を抑えることで若年層の入職のハードルを下げ、大人口の減少という社会課題の解決に貢献します。また、さまざまな工具を試す機会を提供することで、若年層大工のスキルアップをサポートし、定着の支援につなげていきます。本サービスは、社内ビジネスコンテスト「第1回新規事業創出プロ」にて生まれたサービスです。「若手大工の離職率が高い」「新たな大工のなり手が不足している」という課題を解決し、「住宅市場が活気づき、いい街づくりが加速する社会の実現」を目指すべく事業化しました。



快適な住環境づくりとヒートショック事故のリスク低減

浴室暖房・換気・乾燥機「ドライファン」

1985年の発売以来、860万台以上(累計生産台数)^{*1}ご利用いただいている。アパート用、マンション用、戸建用など、それぞれに合わせた製品を取りそろえるとともに、プラズマクラスター技術搭載機などもラインアップすることで、国内シェア No.1^{*2} ブランドとしての地位を確立しています。高齢化に伴って増加するヒートショック事故のリスク低減に貢献しています。



*1 当社調べ(2025年3月現在)

*2 住宅設備・建材市場トレンドデータ便覧 2024 電気式浴室暖房乾燥機市場 メーカーシェア(2023年度実績)

株式会社富士経済調べ 2024年6月現在

※ プラズマクラスターTMロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。

環境負荷低減、地域社会貢献の取り組み

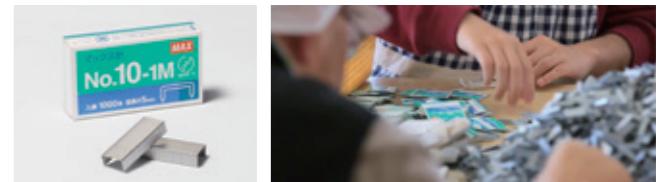
太陽光発電の設置による環境負荷低減

2021年に新設した吉井物流倉庫に太陽光発電設備を設置し、年間110トンのCO₂排出量削減を実現しました。2023年3月より稼働したタイ第3工場においても太陽光発電設備を導入するなど、グループ全体で再生可能エネルギーの利用拡大を進めています。



地域社会貢献の取り組み

障がいのある方への就労支援として、ホッチキス針の箱詰めや、車いすの取扱説明書の袋詰め作業を委託しています。



環境に配慮した製品の投入

バイオマス素材の活用

袋とじ機「エアパッカナー」と「コニクリッパ」の専用消耗品として、バイオマス素材を配合した「バイオマス プラステープル」と「バイオマス コニクリップ」を開発しました。従来は石油由来のプラスチックを使用していましたが、植物由来のバイオマス素材を配合することで、環境負荷の低減を図っています。



バイオマス プラステープル



バイオマス コニクリップ

誘引結束機「テープナー」専用消耗品

生分解テープ、紙製テープの開発

これまで使用後のテープは、自然に分解されないため、枝や茎などの残渣とともに焼却処分されるか、使用後のテープを拾い集めることもありました。生分解性樹脂を使用したテープ、紙素材を使用したテープは、土に埋めると分解するため、環境負荷を低減しつつ、これらの課題の解決を実現しました。



サステナブル文具などの展開

脱プラスチックなど環境に配慮したサステナブル文具シリーズ「Re:max(リマックス)」を展開しています。また、2024年6月にはカバンや家具制作の過程で出る端材をアップサイクルし、本体カバーに「革」と「木」の素材を採用したホッチキスを発売しました。材料となる端材を提供する企業との共同企画で、端材の活用による環境への配慮に加え、共同先との協業により地域産業の活性化にもつなげていきたいと考えています。



数字で見るマックス

創立年月日

1942年

11月26日

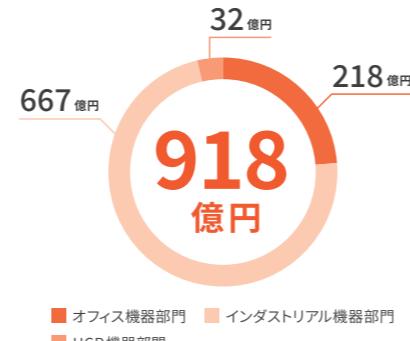


連結従業員数

2,466人



連結売上高(部門別)

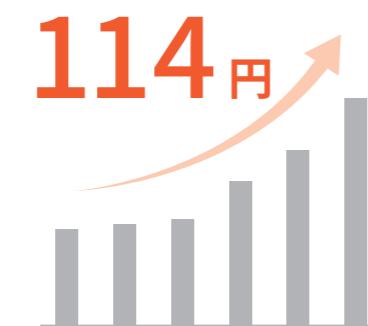


連結営業利益

144.6億円



1株あたり配当金



ROE

10.9%



地域別売上高



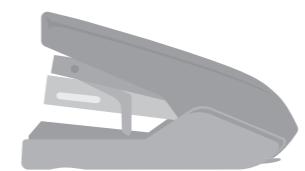
海外売上高比率

48.4%

世界約80カ国

国産初10号ホッチキス
発売から

73年



1952年 → 2025年

ホッチキス累計売上台数

5億台以上



国産初エアネイラ
発売から

63年



1962年 → 2025年

世界初充電式鉄筋結束機
発売から

32年



1993年 → 2025年

浴室暖房・換気・乾燥機
累計生産台数

860万台



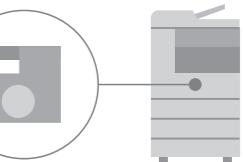
世界初テープナー
発売から

56年



複合機内蔵用オートステープラ
発売から

40年



市場シェア

国内シェアNo.1^{*1}



ホッチキス

世界シェアNo.1^{*2}



複合機内蔵用オートステープラ

国内シェアNo.1^{*2}



建築用エアコンプレッサ

国内シェアNo.1^{*2}



テープナー

国内シェアNo.1^{*3}



浴室暖房・換気・乾燥機

*1 2024年版 文具・事務用品マーケティング総覧 国内ステープラ市場シェア 株式会社矢野経済研究所調べ *2 当社調べ 2025年7月現在

*3 住宅設備・建材市場トレンドデータ便覧2024 電気式浴室暖房乾燥機市場メーカー調査 (2023年度実績) 株式会社富士経済調べ 2024年6月現在

『使う人が満足するモノづくり』 このこだわりが、マックスの歴史です。

1952年
国産第一号の10号タイプ
ホッチキス「SYC・10」発売



1942年
航空機の尾翼の
部品メーカーとして発足

1954年
ベーシックホッチキス
「MAX・10」発売



1968年
スタンダードホッチキス
「HD-10D」発売



1979年
軽じホッチキス
「ホッパー」発売



1985年
〈電子タイムレコーダ〉
発売



1985年
〈電子ホッチキス〉
発売



1985年
複合機内蔵用
〈オートステープラ〉
発売



1987年
とじ裏が平らになる
フラットクリンチ
ホッチキス発売



1990年
表示作成機
〈ビーポップ〉発売



1994年
チューブマーク
〈レタツイン〉発売



2002年
50周年記念モデルホッチキス
「HD-10DFL」発売



2006年
食品ラベル用
〈感熱ラベルプリンタ〉発売



2008年
2枚~40枚が軽くとじられる新規格針採用の
新世代ホッチキス〈Vaimo 11シリーズ〉発売



2010年
車いすメーカーである(株)カワムラサイクルの
株式を取得し、連結子会社化



HCR 機器部門

オフィス機器部門

1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

1958年
国産第一号の
〈ガンタッカ〉発売



1962年
国産第一号の
〈エアネイラ〉「T2-A」発売



1969年
誘引結束機
〈テープナー〉発売



1971年
袋口結束機
〈パックナー〉発売



1973年
丸釘用〈コイルネイラ〉
「CN-60」発売



1976年
ネイラ専用
〈エアコンプレッサ〉発売



1993年
鉄筋結束機
〈リバータイア〉発売



1996年
石膏ボード用ねじ打機
〈ターボドライバ〉発売



1998年
青果・食品用袋口結束機
〈コニクリッパ〉発売



1994年
高圧釘打機システム
〈スーパーネイラ / スーパー
エア・コンプレッサ〉発売



2000年
浴室暖房・換気・乾燥機メーカー・シンワハイテク
グループ2社を買収し住環境機器事業に進出



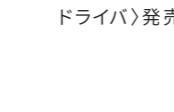
2004年
国産第一号の
〈ガスネイラ〉発売



2004年
プロ用コンクリートツール
〈ハンマドリリ〉発売



2008年
リチウムイオン電池搭載
充電式ブラシレス〈インパクト
ドライバ〉発売



2010年
充電式剪定はさみ
〈ザクリオ〉発売



2017年
鉄筋結束機
〈ツインタイア〉発売



2020年
鉄筋結束機
〈ツインタイア ウォーカー モデル〉発売



2023年
充電式袋とじ機
〈モバイルパッカナー〉発売



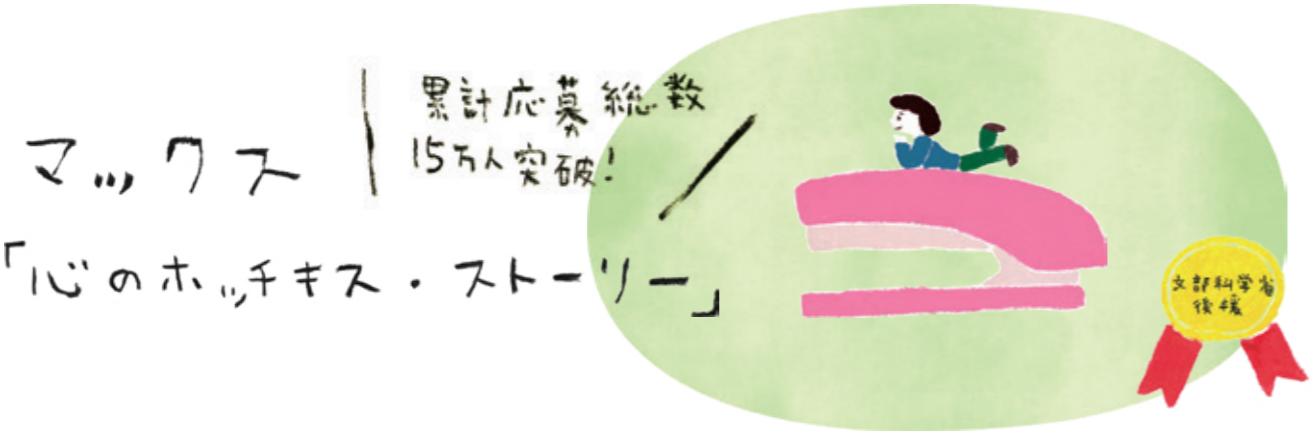
2024年
鉄筋結束機
〈IoT搭載モデル〉発売



インダストリアル機器部門

マックスは時代のニーズをいち早く捉え、国産初の小型ホッチキス、手動式ネイラ(ガンタッカ)、製図機械を'42年から'50年代の創業期に、世に送り出しました。これらの製品がお客様の信頼を得て、事業基盤を確立しました。
'60年代から'70年代は、空圧技術の確立によりネイラ(釘打機)はエア式に発展、家具・梱包・建築へと市場を拡大してきました。ネイラの消耗品もステープルから釘へ、被打込材も木から鋼板・コンクリートまで広がり、釘を使うすべての市場にネイラは浸透し、名実ともに日本の釘打機のトップメーカーになりました。

'80年代から'90年代に入ると、エレクトロニクス技術を導入し、チェックライタ、タイムレコーダ、ホッチキスなどの事務機の電子化で、新市場を創造しました。さらに、蓄積された技術を融合し、高圧釘打機(スーパーネイラ)、鉄筋結束機、複合機内蔵用電動ホッチキス(オートステープラ)、表示作成機(ビーポップ)など、次代に向けた新コンセプト製品も生み出しました。
21世紀を迎えて、新たにコンクリートツール事業、住環境機器事業、車いす事業に参入。これからもマックスは、「使う人が満足するモノづくり」にこだわり続けます。



結果発表

Award Result

第15回 マックス・心のホッキス大賞 [I(アイ)さん (埼玉県 / 55歳)]

娘の部屋の掃除をしていた時である。ふと本棚に目をやると、一冊だけ絵本があった。

我が家はマンションで、娘が幼い頃にたくさん持っていた絵本は、幼子がいるご家庭へすべて渡したと妻から聞いていたので、なぜ一冊だけ残っているのか不思議に思った。

小学校から帰ってきた娘にその理由を訊いてみた。すると彼女はこう答えた。

「私にとってのはじめての物語だから」

それを聞いて、ふと昔の記憶が蘇った。その絵本は娘が生まれて初めて読み聞かせをした絵本だったこと

を。大のお気に入りで、何度もくせがまれるまま、夜寝かしつけながら読んだ日々のことを。

娘も当時のことを思い出したのか、少し照れくさそうに笑った。

今、娘の本棚には絵のない本が所狭しと並んでいる。はじめての物語から10年。娘の物語はこれからである。

思わず嬉しくなった私は、久しぶりに娘と一緒に、その絵本を声に出して読んだ。あの頃のよう二人で、笑いながら。



詳しくは「心のホッキス」で検索
心のホッキス



illustration © Jin KITAMURA

マックス コーポレートサイト
<https://www.max-ltd.co.jp/>



MAX

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

マックス株式会社 〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6 Tel: 03-3669-0311 <https://www.max-ltd.co.jp/>



顧客情報資産の保護と社内情報資産の保全を企業経営上の重要な基本方針として、営業本部、本社部門、修理部門、生産技術部門、調達部門、物流倉庫、デジタルインベーション統括部において、情報セキュリティマネジメントシステム(ISO/IEC27001)の認証を取得しております。



重点商品群の継続的生産と供給を目的に、玉村工場、藤岡工場、吉井工場、倉賀野工場、および当該工場に関わる生産間接部門、情報システム部門において、事業継続マネジメントシステム(ISO22301)の認証を取得しております。



釘打機、ホッチキス、電動ホッチキス、文字表示機器および住環境機器、ならびにその消耗品の設計・開発および製造において、品質マネジメントシステム(ISO9001)の認証を取得しております。



玉村工場、藤岡工場、吉井工場、高崎事業所、倉賀野工場、マックス常磐において、環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を取得しております。

この印刷物は、環境への配慮のため、FSC®認証材および管理原材料、VOC(揮発性有機化合物)を含まないUVインキを使用しています。

